

岩手県森林審議会松くい虫対策部会議事録

- 1 開催日時 令和8年2月4日(水) 15:00～16:30
- 2 開催場所 盛岡市中央通一丁目1-38 エスポワールいわて 2階 大中ホール
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 会議次第 別紙次第のとおり
- 5 議事録 下記のとおり

6 議事

(1) 松くい虫被害対策について

ア 報告

① 岩手県の松くい虫被害の現状と対策について(資料1により説明)

《質疑等は次のとおり》

【手塚委員】

私の経験ですが、県が力を入れてらっしゃるみちのく潮風トレイルを歩いておりまして、年始に陸前高田を歩いた時にも、これは松くだらうなという倒木が相当ありまして、私たちは多分松くい虫だらうなっているのはわかるのですが、相当山が荒れていまして、もう陸前高田に関しては先端地域ではないと思うのですが、もう、まん延してしまった地域の管理というのはどういうふうになっているのか教えていただければと思います。

それと、これも沿岸にしか関連しないのですが、この御説明の中でもやっぱり一刻も早く見つけるのが肝心だということで、そう考えた時に、そのトレイルを歩いているハイカーがこの半島部のあまり人が入らないところにも結構入っているので、その人たちがもしかしてと思ったものを写真で撮って、例えば、何かAIに入れたら、松くい虫かどうか判定するといったような仕組みがあれば、あまりお金をかけないで、宮古とか、山田の辺りで早期発見ができるのかなというふうに思いました。

【事務局】

ありがとうございます。

沿岸の方で大船渡市や陸前高田市というのは、残念ながらかなり枯れたマツも目立っておりまして、また新しく枯れておそらく松くい虫だらうと思われるものが増えていくという御報告をいただいているところでございます。

今、お話がございました、まん延地域の取組といたしましては、新たに見つけて、それを次々と早期徹底駆除を行うというのは、先端のところでの、これ以上被害が拡大しないための取組となっております、残念ながら、かなり被害が広がってきているようなところでの取組といたしましては、松林を一旦伐採して、他の樹種に転換していくといったような取組が、メインのものとなっております。

特に山が荒れて見えてしまっているというほど、被害が進んでいるところにつきましては、マツではない樹種に置き換えて、森林として成立させていくという取組が重要になってくると考えておりました。

ただ、一方では釜石市もそうなのですから、沿岸の方でも、まだ、まん延していない先端にあたるような地域につきましては、発見したものについて情報を寄せいただくというのは、重要な話だと思います。

ただ、残念ながら今、お話がありましたA Iで松くい虫と判定できるかと言いますと、松くい虫につきましては、枯れたマツを発見した場合に材片を取りまして、そこにマツノザイセンチュウがいるかということを経験技術センターで確認して、確定させているという状況でございます。

その中では、真っ赤に枯れたからといって、松くい虫ばかりでなくて、近年の暑さ乾燥等の影響によって、おそらくストレスで枯れたのではないかといったような、マツノザイセンチュウが出ないものもあると伺っておりますので、その確定については、情報を寄せいただいた先端地はですね、県の職員が材片を取った上での確定といったこととなります。

【手塚委員】

これも県の方で把握されているのかなと思って質問させていただくのですが、大船渡市の山火事も松くい虫の広がりにも影響があるのではないかと、根拠はないかもしれないのですが、そういった不安の声を聞くこともあって、そのあたりは、県として何か調査をされているのでしょうか。

【事務局】

山火事の被災地域では、火災で被災したかどうかというところの調査が終わって、11月末頃にその被害状況を公表したところです、その中での病虫害の状況がどうなっているというところについては、こちらにお載せしている市町村別の被害量の通常の調査の中で把握しているところでございます。

被害地域の中でも、もちろん、山火事の被害があるなしにかかわらず、松くい虫というものができてきたということで、マツの木が被災したことで、樹勢が弱るといったことが想定されますので、被害のまん延がこれから起きてくるのではないかと不安の声は、こちらにも届いております。

その病虫害の防除という意味もありますけれども、まずはその火災で被災した森林を復旧していくという取組の中で、松林についても復旧の方向を検討していくことになるかと考えています。

松くい虫の樹種転換については特に樹種の選定はしておりません。国の森林整備事業では伐採後に植栽する場合がありますが、その場合はマツ以外の樹種か抵抗性マツとしています。

ナラ枯れにつきましては、この後ナラ枯れ被害の方で御説明しますが、若いナラ林はナラ枯れ被害に強いと言われており、ナラ類の若返りである程度対応できるかと思っております。

【橋浦委員】

この市町村別の数字ですが、今回、前年比 101%ということですのでずっと減少していたのが、増えた要因の1つに、奥州市の被害がとんでもなく増えているのですけれど

ども。今まではちゃんと調べてなかったのか、それとも突然何か増える要因があったのかっていうのをちょっとお伺いしたいのですが。

【事務局】

こちらの方は各市町村と連携した調査の結果ということで、上がってきた数字でございますけれども、奥州市と遠野市でかなり増えたというような御報告を頂戴しているところで、この地域だけが非常に松くい虫が広がるような、新たな要因があったかということについてはちょっとこちらの方では把握しておりませんでしたので、こちらは9月の速報値という内容となっておりますけれども、今後の増え方や、増えた後の被害の広がり方といったようなものについて、こちらも被害がまん延している地域ではありますけれども、特にこの地域に特化して、急激に伸びるようなものになっていくのかどうかというのは、今後の推移を注視して参りたいと思います。

【鈴木委員】

今回、初めて資料を拝見させていただいて、いずれにせよ気になったのは奥州市やその辺りで今までと明らかに数値が違いすぎるという点についてはすごく気になる場所ですので、そういったところに関しては資料の次のページにあります特別防除によって集中的に防除される計画はどのようなのでしょうか。

【事務局】

特別防除については、予め守るべき松林として決めているところで、例えば奥州市であれば月山神社のあたりとか、決まったところで毎年やるものなので、今回被害が増えたから特別防除を実施するというようなことではありません。

【鈴木委員】

なるほど。

ただ、あまりにも急激に数値が大きく跳ね上がっているもので、何かしら今まで表に出てきてなかった数値なのか、そういうことは何かしらあるのだろうなど、感じるところはあるので、注視する必要があると思います。

【事務局】

ありがとうございます。

今後の状況を注視しながらですね、特別防除というのは今御説明いたしましたように、景勝地での守るべき松林を薬剤で防除するといったような内容でございましたので、こういった急激に増えたものへの対応といたしましては、先ほど手塚委員にもお話したような、こちらは資料8ページのいわて環境の森整備事業の中で言いますと、アカマツ林広葉樹林化事業といったようなですね、枯死木を含んだマツを一旦伐採いたしまして、天然更新を促進するといったような対策をとって参りたいと考えております。

【山中部会長】

ありがとうございました。

時間ですが、私も1つだけ聞きたいことがあって、増えた場所もあるのですが、実は5ページ、市町村別の推移の図を見ると、例えば宮古市と西和賀町は、平成25年のみで、その後被害が消えたり、雫石町も7ページに書いてあるとおりに令和7年に被害がなくなったりしましたが、こういう市町村に関して、これがうまくいったというか、何か効果的な防除対策があったという話が何かあれば、教えていただければと思うのですけど。

【事務局】

被害の発生本数が少なかったなので、全部駆除したら、次の年に被害が出なかったとか、そういうことかと思えます。

ただ、一戸町のように最初に被害が出た年に色々な場所で何本も出てきたとなると、その年での根絶が難しいということは考えられます。

② 令和8年度特別防除等計画について（資料2により説明）

《質疑等 なし》

③ 令和8年度松くい虫被害対策実施方針について（資料3により説明）

《質疑等の要旨は次のとおり》

【橋浦委員】

資料の16ページの12番と13番ですが、樹種転換の促進と松くい虫の抵抗性品種の普及ですね。これの進捗状況をお伺いしたいのですが、処理した後、どのぐらい植林したのか、ざっとで良いので教えてください。

【事務局】

樹種転換の実績ですが、県内で樹種転換は、森林整備事業やいわて環境の森整備事業のアカマツ林広葉樹林化という事業によって実施されておりまして、令和2年度から令和6年度までの5年間の実績は、230haとなっております。

これについては、植栽されたものと、アカマツ林広葉樹林化は基本的には天然更

新となっています。令和6年度については、41ha 樹種転換されており、そのうち植栽されたのが13ha となっております。

植栽されているアカマツは、全て抵抗性アカマツです。

【山中部会長】

監視帯を必要に応じて見直すと資料に記載してありますが、どれぐらいの頻度で見直しているのでしょうか。

【事務局】

定期的に何年毎ということではないので、必要となった時に見直しを行っております。

- ④ 松くい虫被害地域の指定に係る検討状況について（資料4により説明）
《質疑等なし》

イ 審議

- ① 高度公益機能森林等の区域の変更（案）について（資料5により説明）
《質疑等は次のとおり》

【山中部会長】

各地域の増減に関してはそれぞれ今、事務局から説明していただいたとおりの話だろうということなので、それぞれ実情に応じた変更になっているのかなというふうには理解しております。

また、資料5のところに「森林審議会及び関係市町村の意見を聞いたうえで指定」となっていますが、この松くい虫部会に凶るってというのがこの審議会での意見を聞くという形ですので、この前にもう既に市町村の意見を聞いているということでしょうか。

【事務局】

はい。この案を作った時点で、関係する各市町村からの意見は聞いております。

《イ 審議事項について、原案どおり承認》

(2) ナラ枯れ被害対策について

ア 報告

- ① 岩手県のナラ枯れ被害の現状と対策について（資料6により説明）
《質疑等は次のとおり》

【手塚委員】

昨年の夏はナラ枯れの被害が多かったと知り合いも言っていました。

ナラ枯れの被害が増えたのは夏の暑い気温と関係あるのか、そういった分析があるのでしょうか。

【事務局】

一般的には高齢なナラ林が増えているからと言われていますが、学識経験者によると1月から3月の気温がある程度低ければカシノナガクイムシが越冬できないが、近年は温暖化の影響で越冬できるものがあるようです。

② 令和8年度ナラ枯れ被害対策実施方針について（資料7により説明）

《質疑等は次のとおり》

【手塚委員】

実施方針の目標（2）にあるナラのチップ利用について、県としての対策はどうなっていますか。

【事務局】

県民税事業のナラ林健全化では被害地域で伐採した材は全てチップ化することとされています。令和6年度の事業実績は42haです。被害地域以外では用材としても利用することができます。

【橋浦委員】

被害が拡大していることについて、しいたけ原木の利用は影響があるのでしょうか。放射能で使えなくなり、震災から十数年経ってナラ林が高齢化したため、被害が広がっているのでしょうか、伐採の担い手が少なくなって伐採されなくなったこともありますでしょうか。

【事務局】

震災から十数年経ってナラが高齢化し、状況が変わったというよりは、それ以前の燃料革命の方が伐採されなくなった原因としてはあると思われれます。

また、集成材や合板等の需要が旺盛で、効率的な生産が可能な針葉樹生産にシフトしているという印象です。

県南部のナラ林では、放射性物質の影響でしいたけ原木として利用できない場所もありますが、しいたけ原木の需要に対しては、原木需給調整会議により県内の需給を調整しており、場合によっては県外にも供給のお願いを行っている状況です。

【手塚委員】

チップはどのように利用されているのでしょうか。

【事務局】

県内の広葉樹チップのほとんどは大型の製紙工場に出荷されています。

【鈴木委員】

バイオマスとしても活用されているのでしょうか。

【事務局】

広葉樹チップの多くは製紙用として活用されていると把握しておりますが、バイオマスとして活用することも可能です。

《議事終了》

岩手県森林審議会松くい虫対策部会委員名簿

氏 名	役 職 名	備考
山 中 高 史	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所長	
伊 藤 弓 枝	かたぎしゆみえ建築設計事務所 主宰	欠席
鈴 木 健太郎	岩手県木材青壮年協議会 令和8年度会長	オンライン参加
手 塚 さや香	一般社団法人いわて地域おこし協力隊ネ ットワーク 理事	
橋 浦 律 子	NPO法人紫波みらい研究所 事務局長	

(委員数5名)

事務局等

所 属	職	氏 名	備考
農林水産部	林務担当技監	砂子田 博	
農林水産部森林整備課	総括課長	高芝 俊雄	
	整備課長	成松 美樹	
	主任主査	松岡 幸子	
	主任	佐島 慧	
林業技術センター研究部	主任専門研究員	皆川 拓	

岩手県森林審議会松くい虫対策部会

日時：令和8年2月4日（水）15:00～16:30

場所：エスポワールいわて 2階 大中ホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 松くい虫被害対策について

ア 報告

- ① 岩手県の松くい虫被害の現状と対策について …… 【資料1】
- ② 令和8年度特別防除等計画について …… 【資料2】
- ③ 令和8年度松くい虫被害対策実施方針について …… 【資料3】
- ④ 松くい虫被害地域の指定に係る検討状況について …… 【資料4】

イ 審議

- 高度公益機能森林等の区域の変更（案）について …… 【資料5】

(2) ナラ枯れ被害対策について

ア 報告

- ① 岩手県のナラ枯れ被害の現状と対策について …… 【資料6】
- ② 令和8年度ナラ枯れ被害対策実施方針について …… 【資料7】

4 閉 会